

# Aterm® DR221G

## スタートガイド

お使いになる前に

1

設置する・接続する

2

パソコンのネットワークを  
設定する

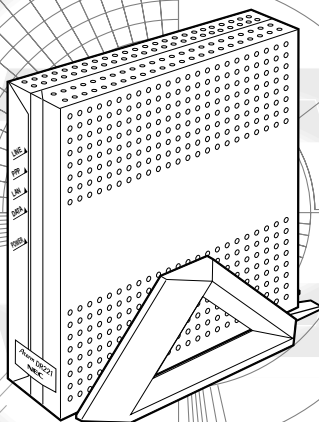
3

インターネット接続の  
設定と接続

4

付録

5



# マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



## スタートガイド(本書)

Aterm DIRECTSTARの基本機能についての説明書です。



## 詳細ガイド( CD-ROM:HTMLファイル )

本書には記載されていない、Aterm DIRECTSTARのより詳細な機能について解説しています。



## 用語解説( CD-ROM:HTMLファイル )

本書で使われている用語や、Aterm DIRECTSTARを活用するために知っておきたい用語の解説を五十音順で検索することができます。

CD-ROMの操作方法について(本書「CD-ROMに収録されたマニュアルの見かた」6ページ)

# はじめに

このたびは、本商品をお選びいただきまことにありがとうございます。  
本商品をご使用していただくにあたり、下記の内容をご確認ください。

ADSLのサービス提供地域であっても、設備・回線等の都合により本商品をご利用になれない場合があります。

遠隔検針（ノーリング通信サービス）や警備保障、回線自動選択装置（ACR）等の電話回線を利用したサービスを利用されている場合、それらのサービスに支障をきたす場合があります。

ADSL区間の距離や設備状況、他回線からの影響、お客様宅内で接続されている通信設備（ACR等）等の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。

ADSLによるインターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入及び情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。

- Aterm<sup>®</sup> は、日本電気株式会社の登録商標です。
- Windows<sup>®</sup>、Windows NT<sup>®</sup> は、米国 Microsoft<sup>®</sup> Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows<sup>®</sup> Me は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> Millennium Edition operating system の略です。
- Windows<sup>®</sup> 98 は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 98 operating system の略です。
- Windows<sup>®</sup> XP は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP Home Edition operating system および Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP Professional operating system の略です。
- Windows<sup>®</sup> 2000 は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 2000 Professional operating system の略です。
- Netscape、Netscape Navigator および Netscape Communicator は、米国 Netscape Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh<sup>®</sup> は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- Acrobat<sup>®</sup> Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の各会社名および各製品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2002

© NEC AccessTechnica, Ltd. 2002

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

# マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

## スタートガイド（本書）

本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

## 詳細ガイド（CD-ROM：HTML ファイル）

本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

## 用語解説（CD-ROM：HTML ファイル）

本書で使われている用語や本商品を活用するために知っておきたい用語の解説を五十音で検索することができます。

本商品を使用して、インターネットに接続するまでの流れは、下記ようになります。

### 添付品の確認をします

『1-2. セットを確認してください』（● 本書 1-3 ページ）

### 取りつけます

『2. 設置する・接続する』（● 本書 2-1 ページ）

### パソコンの設定を行います

『3. パソコンのネットワークを設定する』（● 本書 3-1 ページ）  
パソコンを購入したままの状態でお使いの場合は必要ありません。

### インターネットにつなぐための設定をします

『4-1. 本商品の設定をする』（● 本書 4-2 ページ）

### インターネットにつなぎます

『4-2. インターネットに接続する』（● 本書 4-4 ページ）

# 目次

はじめに	1
マニュアルの読み進めかた	2
目次	3
「詳細ガイド」目次	5
CD-ROM に収録されたマニュアルの見かた	6
安全にお使いいただくために必ずお読みください	7
<b>1 章 お使いになる前に</b>	
1-1 Aterm DR221G とは	1-2
1-2 セットを確認してください	1-3
1-3 各部の名称・機能	1-4
1-4 あらかじめ確認してください	1-6
パソコンの Ethernet ポートについて	1-6
Web ブラウザの環境について	1-6
<b>2 章 設置する・接続する</b>	
2-1 設置・接続の流れ	2-2
2-2 設置する	2-3
スタンドをつける	2-3
本商品を設置する	2-3
2-3 電話機をつなぎ、ADSL 回線に接続する	2-4
2-4 直接 ADSL 回線に接続する	2-6
<b>3 章 パソコンのネットワークを設定する</b>	
3-1 Windows® Me/98 をご利用の場合	3-2
3-2 Windows® 2000 をご利用の場合	3-4
3-3 Windows® XP をご利用の場合	3-5
3-4 Mac OS をご利用の場合	3-6
3-5 パソコンの接続と確認	3-7
本商品とパソコンを接続する	3-7
本商品とパソコンの接続を確認する	3-8
<b>4 章 インターネット接続の設定と接続</b>	
4-1 本商品の設定をする	4-2
4-2 インターネットに接続する	4-4

---

## 5 章 付録

5-1	IP パケットフィルタリング	5-2
5-2	IP マスカレード機能 (アドバンスド NAT)	5-3
	IP マスカレード (アドバンスド NAT) とは	5-3
5-3	Windows Messenger や MSN Messenger を利用する (UPnP 機能)	5-4
5-4	ファイルとプリンタの共有 (Windows®)	5-5
5-5	ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど) を 利用する	5-10
	複数固定 IP サービス対応 (複数アドレス拡張)	5-10
	DMS ホスティング機能	5-10
	ポートマッピング機能	5-10
	クイック設定 Web でポートマッピングの設定をする	5-11
5-6	トラブルシューティング	5-12
	設置に関するトラブル	5-12
	ご利用開始後のトラブル	5-17
5-7	本商品のバージョンアップ	5-19
5-8	本商品の初期化	5-21
5-9	製品仕様	5-22
5-10	お問い合わせ	5-23
5-11	用語解説	5-24
5-12	索引	5-26
5-13	確認シート	5-27

# 「詳細ガイド」目次

添付 CD-ROM には、本商品の詳細な機能について説明した「詳細ガイド」が HTML ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、6 ページを参照してください。

## 1 章 機能一覧

- アドバンスド NAT (IP マスカレード)
- アドバンスド NAT オプション (ポートマッピング)
- IP パケットフィルタリング
- ダイナミックポートコントロール機能
- DHCP サーバ機能
- DNS フォワーディング
- 不正アクセス検出機能
- アクセスログ機能
- UPnP 機能 (Windows Messenger や MSN Messenger を使う)
- DMZ ホスティング機能
- PPPoE ブリッジ
- 複数固定 IP サービス対応
- 無通信監視タイマ
- シングルユーザアクセスモード
- VPN (PPTP) パススルー機能
- 管理者パスワードの設定
- 日時の設定
- 情報表示 (装置情報、状態表示)

## 2 章 外部にサーバを公開する

## 3 章 ファイルとプリンタの共有 (Windows®)

- LAN に接続するための準備
- フォルダやプリンタに共有を設定する (サーバ)
- 共有フォルダや共有プリンタを利用する (クライアント)

## 4 章 クイック設定 Web の使いかた

- 起動のしかた
- メニュー画面
- 登録のしかた
- 基本設定
- WAN 側自動接続設定
- LAN 側設定
- DHCP エントリ設定
- パケットフィルタ設定
- ポートマッピング設定
- 高度な設定
- 管理者パスワードの変更
- 時刻設定
- 設定値の保存と復元
- 設定値の初期化
- PING テスト
- ループバックテスト
- 現在の状態
- 通信情報ログ
- UPnP の状態
- ADSL モデムの状態

## CD-ROM に収録されたマニュアルの見かた

### Windows® をお使いの場合

- 1 CD-ROM をパソコンにセットしてください。
- 2 Acrobat® Reader を起動して「スタートガイド」のファイルを開いてください。
- 3 ブラウザ (Internet Explorer など) を起動して「詳細ガイド」のファイルを開いてください。

### Macintosh® をお使いの場合

- 1 CD-ROM をパソコンにセットしてください。
- 2 Acrobat® Reader を起動して「スタートガイド」のファイルを開いてください。
- 3 ブラウザ (Internet Explorer など) を起動して「詳細ガイド」のファイルを開いてください。

### お願い

Acrobat® Reader をインストールされていない方は、添付品 CD-ROM に収録されている Acrobat® Reader をインストールしてください。






# 安全にお使いいただくために必ずお読みください




本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 本書中のマーク説明

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

## 絵表示の例

-  △記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

## 警告

### 設置場所

風呂、シャワー室への設置禁止  
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。  
漏電して、火災・感電の原因となります。



水のかかる場所への設置禁止  
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。  
漏電して、火災・感電の原因となります。



### こんなときは

発煙した場合  
万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、添付の保守業者一覧をご覧ください。保守業者に修理をご依頼ください。  
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



水が装置内部に入った場合  
万一、内部に水などがいった場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、添付の保守業者一覧をご覧ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。



異物が装置内部に入った場合  
本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、添付の保守業者一覧をご覧ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



## 警告

### 電源コードが傷んだ場合

電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、添付の保守業者一覧をご覧ください。保守業者に修理をご依頼ください。



### 電源コードの取り扱い注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災・感電の原因となります。



また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

### 破損した場合

万一、落としたり、破損した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、添付の保守業者一覧をご覧ください。保守業者にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



## 禁止事項

### たこ足配線の禁止

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。



### 商用電源以外の使用禁止

AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。



差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。



## 警告

### 分解改造の禁止

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



### ぬらすことの禁止

本商品に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。  
漏電して火災・感電の原因となります。



### ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。



## その他のご注意

### 異物を入れないための注意

本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



## 注 意

### 設置場所

#### 火気のそばへの設置禁止

本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



#### 温度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



#### 油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



#### 不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。



また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本商品を逆さまに置かないでください



#### 通風孔をふさぐことの禁止

本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。



- ・ 横向きに寝かせる
- ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・ じゅうたんや布団の上に置く
- ・ テーブルクロスなどを掛ける

#### 横置き・重ね置きの禁止

本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。



## 注意

### 禁止事項

#### 乗ることの禁止

本商品に乗らないでください。特に小さなお子さまのいるご家族ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。



### 電源

#### アース線の取付

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。



#### プラグの取り扱い注意

ACアダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



#### ACアダプタ（電源プラグ）の清掃

ACアダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。



#### 長期不在時の注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。



### その他のご注意

#### 移動させるときの注意

移動させる場合は、本体の電源スイッチを切った後、ACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



#### 雷のときの注意

雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。



本書に従って接続してください。

間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



**STOP** お願い

**設置場所**

本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

**禁止事項**

動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

**日頃のお手入れ**

汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。

ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

### ADSL に関する注意事項

通信速度は、パソコンの環境や接続プロバイダ、サーバ、接続時間帯により実際の実効速度とは異なります。

ADSL を設置している NTT 局舎から設置場所までが離れている場合、あるいは十分な配線設備がない場合は、十分な通信速度が出ないか、または使用できないことがあります。

設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、または ADSL 回線による接続が途切れたりすることがあります。

電話回線で着信があった場合は、ADSL 回線による接続が途切れることがあります。

近くにガス検知器などがあると、十分な通信速度が出ないことがあります。

次のような場合は、速度が遅くなることがあります。

- ・ ISDN 回線などのノイズ源がある場合
- ・ 配線のルート変更で距離が伸びた場合
- ・ 電話回線の音声信号にデータを重畳させている場合
- ・ スプリッタで分離していても配線状況が悪い場合





# 1

## お使いになる前に



### 1

この章では、「Aterm DR221G」とは何かを説明します。

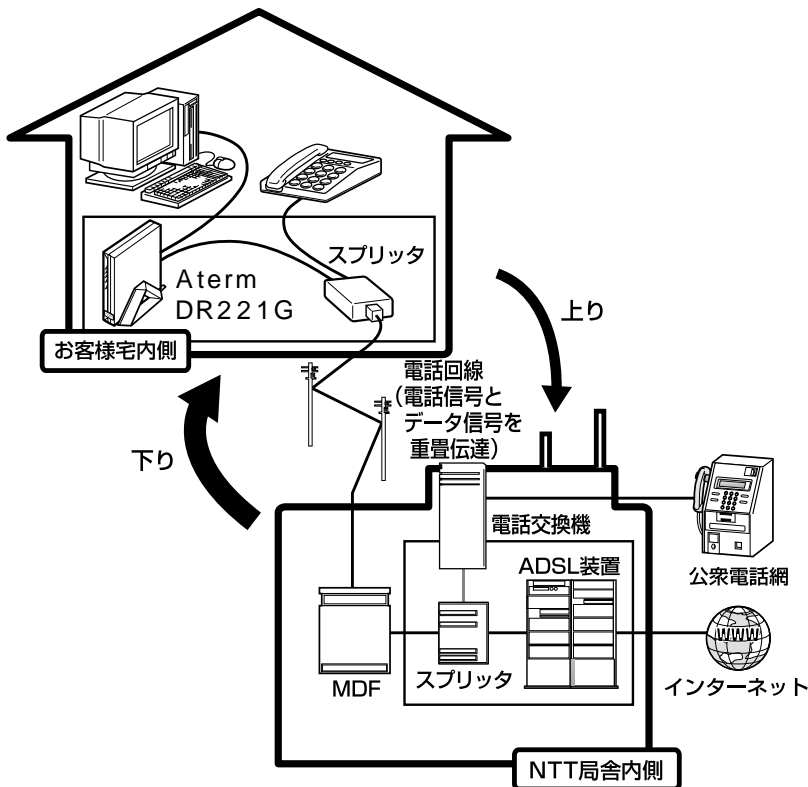
また、添付品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

1-1	Aterm DR221G とは .....	1-2
1-2	セットを確認してください .....	1-3
1-3	各部の名称・機能 .....	1-4
1-4	あらかじめ確認してください .....	1-6

- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

## 1-1 Aterm DR221G とは

Aterm DR221Gは、メタリック回線（電話回線）を使用して、高速なインターネット接続を可能とするADSLモデム内蔵のブロードバンドルータです。本商品にHUBで接続した複数のパソコン間で通信することも可能です。



また、本商品は、初心者の方にも容易にインターネットをご使用いただけるように、Webブラウザによる設定（クイック設定Web）を実現していますので、接続する端末やOSに依存せずにご利用いただけます。

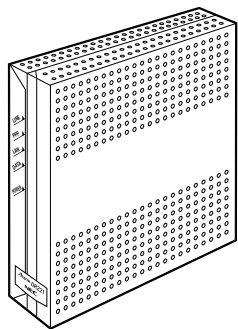
そのほかに、下記のような便利なルータ機能が満載されています。

- ・ DHCP サーバ機能
- ・ DNS フォワーディング機能
- ・ IP パケットフィルタリング機能  
プロトコル種別、パケット方向、送信元/宛先ポート番号（範囲指定）、送信元/宛先IPアドレス（範囲指定）が可能
- ・ IP マスカレード機能（アドバンスド NAT）
- ・ ポートマッピング機能

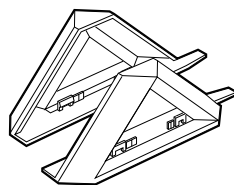
## 1-2 セットを確認してください

設置を始める前に、保証書以外の添付品がそろっていることを確認してください。（不足しているものがある場合は添付のお問い合わせ先シートをご覧のうえお問い合わせください。）

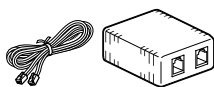
Aterm DR221G 本体



スタンド 1 組



スプリッタ 1 組

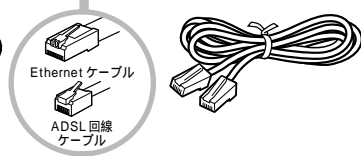


（スプリッタは形状が異なる場合があります）

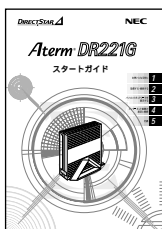
ADSL 回線ケーブル  
1 本



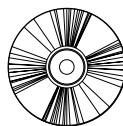
Ethernet ケーブル  
1 本（ストレート）



スタートガイド（本書）1 冊



CD-ROM 1 枚



セットに足りないものがあったり、スタートガイドに乱丁・落丁があった場合などは、添付のお問い合わせ先シートをご覧のうえお問い合わせください。

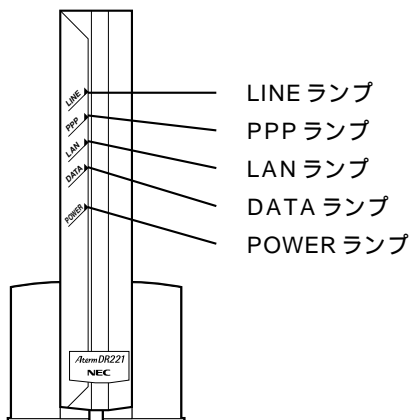


セットがすべてそろっていることを確認したら、1-4 ページへお進みください。

# 1-3 各部の名称・機能

本商品各部の名称および機能を説明します。

前面図

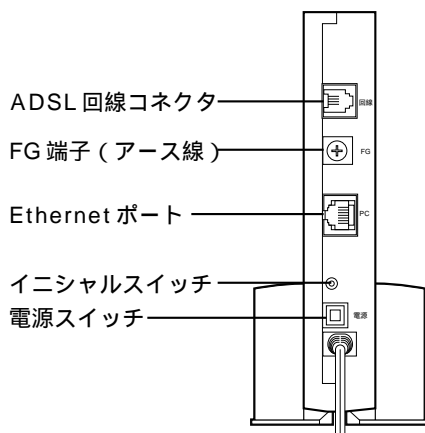


## 【ランプ表示】

前面

ランプの名称		表示（色）		機能説明
ADSL 回線 ランプ	LINE ランプ	緑	点灯	ADSL 回線のリンクが確立しています。
			遅い点滅	ADSL 回線の信号検出待ちです（0.4 秒間隔）。
			速い点滅	ADSL 回線の回線状態をチェック中です（0.2 秒間隔）。
通信 状態 表示 ランプ	PPP ランプ	緑	点灯	PPP のリンクが確立しています。
			遅い点滅	PPP の認証が失敗しました（1 秒間隔）。
			速い点滅	相手先から応答がありません。
			消灯	PPP のリンクが確立していません。
通信 状態 表示 ランプ	LAN ランプ	緑	点灯	Ethernet ポートのリンクが確立しています。
			消灯	Ethernet ポートのリンクが確立していません。
通信 状態 表示 ランプ	DATA ランプ	緑	点滅	Ethernet ポートでデータの送受信をしています。
			消灯	Ethernet ポートでデータの送受信をしていません。
電源 ランプ	POWER ランプ	緑	点灯	電源が投入されています。
			消灯	電源が切れています。

## 背面図



## 背面

名称	表示 (色)	機能説明
ADSL 回線コネクタ	回線	ADSL 回線ケーブルを使用して ADSL 回線に接続するためのポートです。
FG 端子	FG	アース線を接続するための端子です (ネジ径は 4.0mm)。
Ethernet ポート	PC	Ethernet ケーブルを使用してパソコンと接続します (100BASE-TX / 10BASE-T)。
イニシャルスイッチ	なし	工場出荷時の設定値で起動するためのスイッチです。
電源スイッチ	電源	電源 ON/OFF 用のプッシュスイッチです。

## 1

お使いになる前に

## 1-4 あらかじめ確認してください

### パソコンの Ethernet ポートについて

本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、Ethernet ポート（100BASE-TX または 10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどに Ethernet ポートがない場合は、100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードをあらかじめご準備のうえ、パソコンに取り付けてください。

取り付け後は、LAN ボード / カードの取扱説明書に従って正しく動作することを確認してください。

LAN ボード / カードの詳細につきましては、各パソコンメーカーもしくは販売店にお問合わせいただきますようお願いいたします。

### Web ブラウザの環境について

本商品は、Web ブラウザで設定を行います。  
Web ブラウザによる設定では、以下の点に注意してください。

Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。

Windows® Me/98/2000/XP の場合

- ・ Microsoft® Internet Explorer Ver.5.5 以上に対応
- ・ Netscape Navigator Ver.6.1 以上に対応

Macintosh® 8.6/9.0.4/9.1/X の場合

- ・ Microsoft® Internet Explorer Ver.5.0 以上に対応
- ・ Netscape Navigator Ver.6.0 以上に対応

NetFront for （株式会社 ACCESS）にも対応

説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。

お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

回線の状況や設定によっては、設定内容が Web ブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。



確認がすみしたら、2-1 ページへお進みください。

# 2

## 設置する・接続する

本商品を電話機やパソコン、スプリッタと接続する手順を説明します。ADSL回線で電話機（またはファクス）を併用するには、スプリッタが必要です。

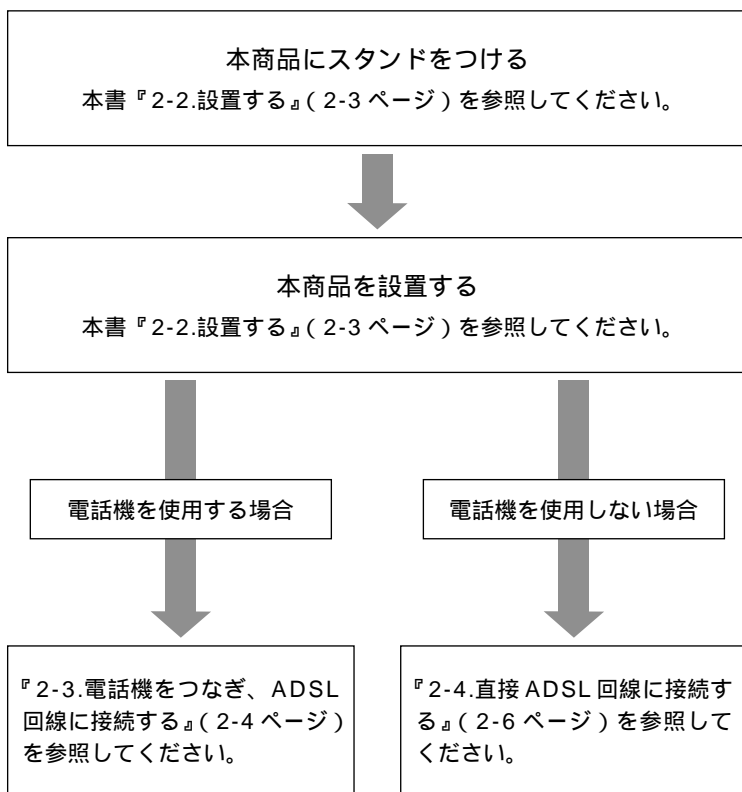
2

2-1	設置・接続の流れ	2-2
2-2	設置する	2-3
2-3	電話機をつなぎ、 ADSL回線に接続する	2-4
2-4	直接ADSL回線に接続する	2-6

- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

## 2-1 設置・接続の流れ

本商品の設置の仕方から、本商品を電話機やスプリッタと接続するまでの流れを説明します。



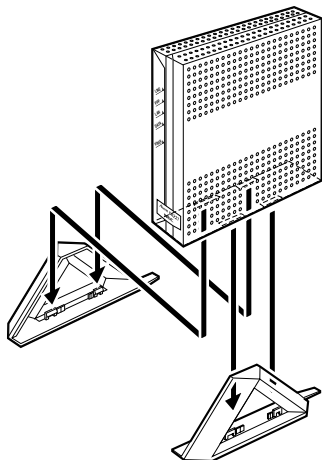
ADSL回線で電話機(またはファクス)を併用するには、スプリッタが必要です。スプリッタは添付のスプリッタをご使用ください。



## 2-2 設置する

### スタンドをつける

図のように、本商品本体にスタンドをつけて縦置きでご使用ください。

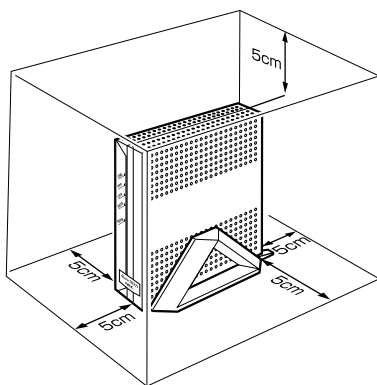


⚠ 注意

本商品は横置きでのご  
使用はできません。

### 本商品を設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。



⚠ 注意

換気が悪くなると本体  
内部の温度が上がり、  
故障の原因になります。

冷蔵庫やTV等、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。  
ADSL回線が切れたり、十分な速度が出ないことがあります。

2

設置する・接続する

# 電話機をつなぎ、ADSL回線に接続する

電話機を併用しない方は、本書の『2-4 直接ADSL回線に接続する』(2-6ページ)に進んでください。

- 1** アース線を使用して、本商品のFG端子を電源コンセントのアース端子に接続する

アース線は添付していませんので、あらかじめご用意ください。



**警告**

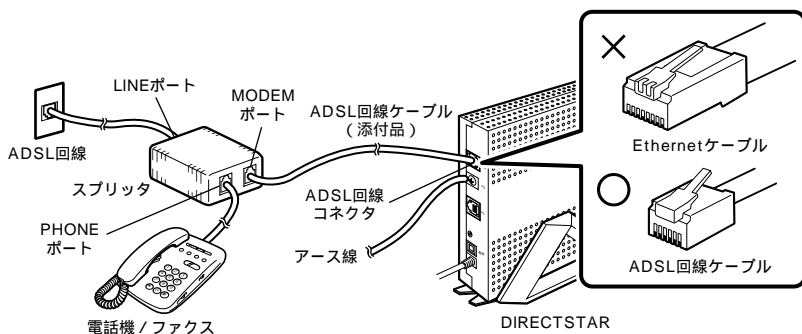
アース線は安全のため必ず接続してください。

- 2** 添付のADSL回線ケーブルを使用して、本商品のADSL回線コネクタとスプリッタ(MODEMポート)を接続する

- 3** スプリッタに添付または接続されている電話機コードを使用して、スプリッタ(LINEポート)とADSL回線のモジュージャックを接続する

- 4** 現在電話機に接続されている電話機コードを使用して、電話機とスプリッタ(PHONEポート)を接続する

接続するコネクタを間違えないようにしてください。



- 5** ACアダプタ(電源プラグ)を壁などのコンセントに接続し、電源スイッチを入れる

- 6** LINEランプが速い点滅を開始し、数十秒後点灯に変わることを確認する  
LINEランプが点灯に変わらない場合は、本書の『5-6 トラブルシューティング』(5-12ページ)を参照のうえ、対処してください。



正常に点灯することを確認したら、3-1ページへお進みください。



## お知らせ

使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。

スプリッタは、添付のスプリッタを使用してください。それ以外のスプリッタを使用した場合、正常に動作しないことがあります。

電話機は、ブランチ接続しないでください。

ADSL回線の開通工事が完了していない場合、LINEランプは遅い点滅のままで点灯しません。

スプリッタはイラストと形状が違う場合があります。

スプリッタの「LINE」または「WALL」にはADSL回線を、「PHONE」には電話機またはファクスを、「MODEM」には本商品をそれぞれ接続してください。

スプリッタによって表示が異なる場合があります。その場合はスプリッタに添付された取扱説明書に従ってください。

## 2-4 直接 ADSL 回線に接続する

電話機を併用しない方は、本商品を直接 ADSL 回線に接続します。

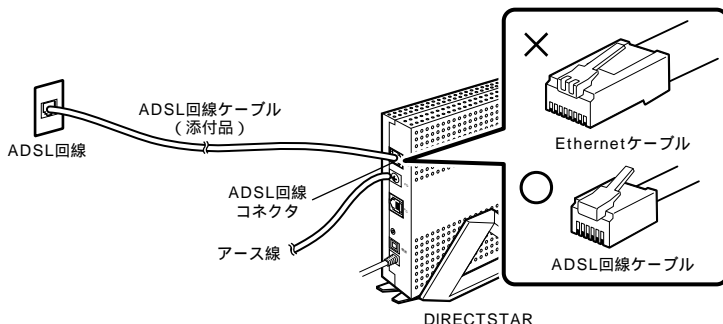
- 1 アース線を使用して、本商品の FG 端子を電源コンセントのアース端子に接続する  
アース線は添付していませんので、あらかじめご用意ください。



**警告**

アース線は安全のため必ず接続してください。

- 2 添付の ADSL 回線ケーブルを使用して、本商品の ADSL 回線コネクタと ADSL 回線のモジュージャックを接続する  
接続するコネクタを間違えないようにしてください。



- 3 本商品の電源を入れる

- 4 LINE ランプが速い点滅を開始し、数十秒後点灯に変わることを確認する

LINE ランプが点灯に変わらない場合は、本書の『5-6 トラブルシューティング』(5-12 ページ)を参照のうえ、対処してください。



正常に点灯することを確認したら、3-1 ページへお進みください。



**お知らせ**

ADSL 回線の開通工事が完了していない場合、LINE ランプは遅い点滅のままで点灯しません。

# 3

## パソコンのネットワークを 設定する

インターネットに接続するためには、パソコンのネットワークの設定が必要です。本商品に接続するパソコンに必要な設定について説明します。

(本章の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。DHCP サーバは工場出荷時に「使用する」になっています。)

3-1	Windows® Me/98 をご利用の場合	.....3-2
3-2	Windows® 2000 をご利用の場合	.....3-4
3-3	Windows® XP をご利用の場合	.....3-5
3-4	Mac OS をご利用の場合	.....3-6
3-5	パソコンの接続と確認	.....3-7

- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

# 3-1 Windows® Me/98 をご利用の場合

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

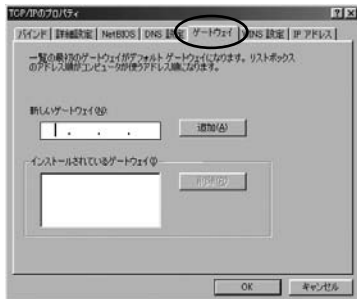
3 リストの [TCP/IP->お使いの LAN カード (またはお使いの LAN ボード)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



6 [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択する




7 [OK] をクリックする

8 [OK] をクリックする

9 [インターネットオプション] アイコンをダブルクリックする

**10** [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する

**11** [OK] をクリックする

 続けて 3-7 ページへお進みください。



**お知らせ**

「LAN の設定」で、プロキシサーバを使用する設定になっていると、インターネットに正しく接続できない場合があります。

**3**

パソコンのネットワークを設定する

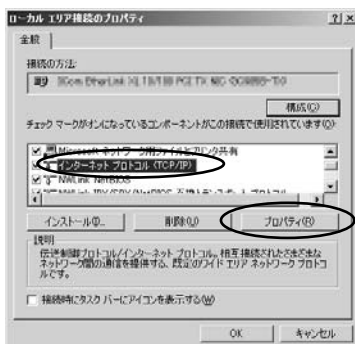
## 3-2 Windows® 2000 をご利用の場合

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

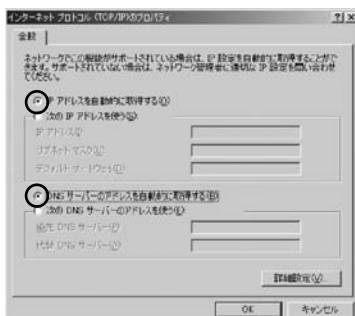
2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする

3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



5 [IPアドレスを自動的に取得] と [DNSサーバのアドレスを自動的に取得する] を選択する



6 [OK] をクリックする

7 [OK] をクリックする

8 [インターネットオプション] アイコンをダブルクリックする

9 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する



10 [OK] をクリックする



続けて 3-7 ページへお進みください。



お知らせ

「LAN の設定」で、プロキシサーバを使用する設定になっていると、インターネットに正しく接続できない場合があります。



## 3-3 Windows® XP をご利用の場合

以下は、あらかじめダイヤルアップアイコンが登録されている場合の例です。  
Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 [スタート] から [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバのアドレスを自動的に取得する] を選択する



6 [OK] をクリックする

7 [OK] または [閉じる] をクリックする

8 [戻る] をクリックし、[ネットワークとインターネット接続] 画面の [インターネットオプション] をクリックする

9 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する



10 [OK] をクリックする



続けて 3-7 ページへお進みください。



お知らせ

本書では、Windows® XP の通常表示モード ( カテゴリー表示モード ) を前提に記述しています。

「LAN の設定」で、プロキシサーバを使用する設定になっていると、インターネットに正しく接続できない場合があります。

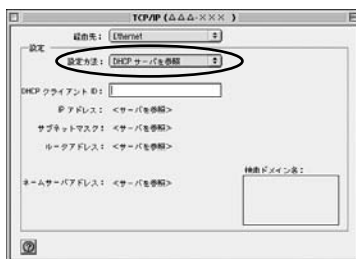
3

パソコンのネットワークを設定する

## 3-4 Mac OS をご利用の場合

Mac OS 8.x/9.x をご利用の場合

- 1 アップルメニューの [コントロールパネル] の [TCP/IP] を開く
- 2 [経路先] を [Ethernet] にする
- 3 [設定方法] を [DHCPサーバを参照] にし、[DHCPクライアントID] と [検索ドメイン名] を空白にし、ウィンドウを閉じる



画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。

- 4 確認のダイアログが表示されたら [保存] をクリックする  
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

➡ 続けて 3-7 ページへお進みください。

Mac OS X をご利用の場合

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- 2 [表示] を [内蔵 Ethernet] にし、[設定] を [DHCPサーバを参照] にする
- 3 [DHCPクライアントID] と [検索ドメイン] を空白にする



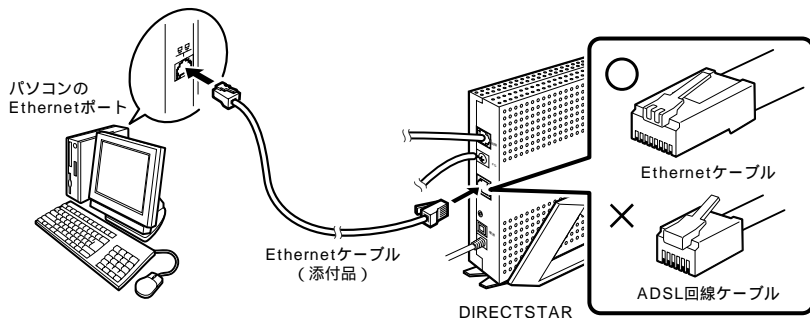
- 4 [今すぐ適用] をクリックし、ウィンドウを閉じる  
以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

➡ 続けて 3-7 ページへお進みください。

## 3-5 パソコンの接続と確認

### 本商品とパソコンを接続する

- 1 添付の Ethernet ケーブル（ストレート）を使用して、本商品の Ethernet ポートとパソコンを接続する



- 2 本商品とパソコンの電源を入れて、ランプの状態を確認する

パソコンの電源を入れます。

LAN ランプが点灯します。

ランプの表示が上記と異なる場合は、本書の『5-6 トラブルシューティング』（5-12 ページ）を参照のうえ、対処してください。

HUB を使用した場合も、本商品の LAN ランプが点灯すれば正しく接続されています。詳しくは、ご使用の HUB の取扱説明書をご覧ください。

## 3

パソコンのネットワークを設定する

## 本商品とパソコンの接続を確認する

本商品のIPアドレスは、初期状態「192.168.0.1」に設定されています。IPアドレスを変更する場合は、添付のCD-ROMに収録されている「詳細ガイド」(HTMLファイル)の「4章 クイック設定Webの使い方」の「LAN側設定」をご覧ください。

### IPアドレスの確認 - Windows® Me/98の場合

パソコンの電源が入っている場合は、いったんパソコンの電源を切ってから確認してください。

**1** パソコンの電源を入れ、本商品のLANランプが点灯することを確認する

**2** パソコンが立ち上がったら、[スタート]から[ファイル名を指定して実行]をクリックし、「winipcfg」と入力後、[OK]をクリックする

**3** 下の画面が表示されたら、▼をクリックし、お使いのLANカード/ボードを選択する



ここではIntel® PRO Adapterを選択した場合を例とします。

**4** IPアドレスが[192.168.0.x]となっていることを確認する(xは1を除く任意の数字です)



**5** [OK]をクリックする



続けて4-1ページへお進みください。

## IP アドレスの確認 - Windows® 2000 の場合

- 1 パソコンの電源を入れ、本商品の LAN ランプが点灯することを確認する
- 2 パソコンが立ち上がったら、[スタート] から [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を実行する
- 3 [コマンドプロンプト] の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押す

4 [Ethernet adapter ローカルエリア接続 : ] が表示され、IP アドレスが [ 192.168.0. x ] になっていることを確認する ( x は 1 を除く任意の数字です )

5 「exit」と入力し、[Enter] キーを押してください。

```

Microsoft Windows [Version 5.00.2102]
(C) Copyright 1995-1998 Microsoft Corp.

C:\>ipconfig /renew

Windows 2000 IP Configuration

Ethernet adapter ローカルエリア接続:

   Connection-specific DNS Suffix . . . : 
   IP Address . . . . . : 192.168.0.2
   Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
   Default Gateway . . . . . : 192.168.0.1

C:\>
  
```



続けて 4-1 ページへお進みください。

## IP アドレスの確認 - Windows® XP の場合

- 1 パソコンの電源を入れ、本商品の LAN ランプが点灯することを確認する
- 2 パソコンが立ち上がったら、[スタート] から [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を実行する
- 3 [コマンドプロンプト] の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、[Enter] キーを押す

4 [Ethernet adapter ローカルエリア接続 : ] が表示され、IP アドレスが「192.168.0. x」になっていることを確認する ( x は 1 を除く任意の数字です )

5 「exit」と入力し、[Enter] キーを押す

```

Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1995-2004 Microsoft Corp.

C:\>ipconfig /renew

Windows XP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

   Connection-specific DNS Suffix . . . : 
   IP Address . . . . . : 192.168.0.2
   Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
   Default Gateway . . . . . : 192.168.0.1

C:\>
  
```



続けて 4-1 ページへお進みください。

3


パソコンのネットワークを設定する

## IP アドレスの確認 - Macintosh® の場合

- 1 パソコンの電源を入れ、本商品の LAN ランプが点灯することを確認する
- 2 アップルメニューから [コントロールパネル] [TCP/IP] を選択する
- 3 IP の設定画面が表示されたら、IP アドレスが「192.168.0.x」になっていることを確認する（x は 1 を除く任意の数字です）



画面は、Mac OS 9.2 を事例に記載したものです。

 続けて 4-1 ページへお進  
みください。



# 4

## インターネット接続の設定と 接続

ブラウザを使ってインターネットに接続するための設定を行います。



### 4

4-1	本商品の設定をする .....	4-2
4-2	インターネットに接続する .....	4-4

- Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

## 4-1 本商品の設定をする

Internet ExplorerやNetscape Navigatorなどのブラウザを使って本商品の基本的な設定をすることができます。

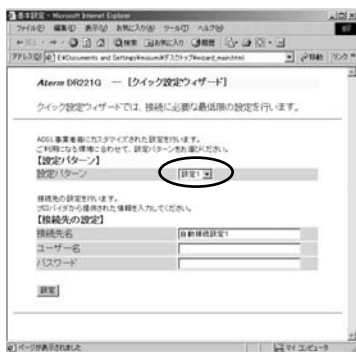
あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器を接続しておきましょう。

**1** ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く  
本商品のIPアドレスを入力して開くこともできます。  
(工場出荷時は192.168.0.1です。)  
例：http://192.168.0.1/

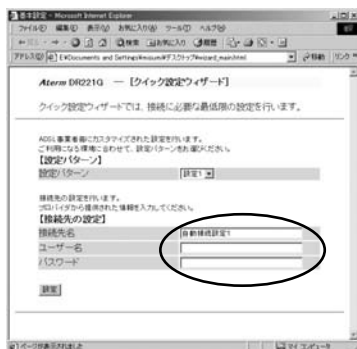
**2** 管理者用パスワードの初期設定を行う  
画面に従ってパスワードを設定してください。

**3** [設定] をクリックする

**4** 設定パターンを選択する  
添付の設定案内を参照してください。



**5** プロバイダまたは接続事業者の設定情報を見ながら、設定する



接続先名：

接続先がわかるようにプロバイダの名称を任意に入力します。入力した名称が接続先の名称として本商品に登録されます。

ユーザー名：

接続事業者/プロバイダの資料に従って「ログインID」(ユーザーID) (例：xxxxx@biglobe.ne.jp など)を入力します。

パスワード：

接続事業者/プロバイダの資料に従ってパスワードを入力します。

**6** [設定] をクリックする  
以降画面に従ってブラウザを終了させてください。



続けて 4-4 ページへお進みください。





## お知らせ

手順 5 で設定パターンの選択を間違えた場合は、本商品を工場出荷時に戻して設定を消去してください。(5-21 ページ)

説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。

クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。

管理者用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者用パスワード \_\_\_\_\_

パスワードは上記の下線の箇所に記入しておくことをお勧めします。

忘れた場合は、本商品を工場出荷状態に戻して設定を消去してください。(5-21 ページ)

## 4-2 インターネットに接続する

インターネットに接続して接続状態を確認してみましょう。

クイック設定 Web で接続設定が完了してから外部のホームページを開くと、自動的に登録された接続先に接続します。

- 1 Web ブラウザ ( Internet Explorer など ) を起動する  
本商品の LINE ランプが点灯していることを確認してから起動してください。
- 2 外部のホームページを開く  
例 ) ホームページ Aterm Station : [http:// 121ware.com/aterm/](http://121ware.com/aterm/)

自動接続先の選択をすることができます。

- 1 [ 基本設定 ] の ▼ をクリックし、[ 自動接続先の選択設定 ] を選択する
- 2 「 4-1 本商品の設定をする 」の  
手順 5 で登録した接続先を選択し、[ 切替 ] をクリックする



# 5

## 付録

5-1	IP パケットフィルタリング	5-2
5-2	IP マスカレード機能 (アドバンスド NAT)	5-3
5-3	Windows Messenger や MSN Messenger を利用する (UPnP 機能)	5-4
5-4	ファイルとプリンタの共有 (Windows®)	5-5
5-5	ネットワーク対応アプリケーション (ネット ワークゲームなど) を利用する	5-10
5-6	トラブルシューティング	5-12
5-7	本商品のバージョンアップ	5-19
5-8	本商品の初期化	5-21
5-9	製品仕様	5-22
5-10	お問い合わせ	5-23
5-11	用語解説	5-24
5-12	索引	5-26
5-13	確認シート	5-27

- Windows®、Windows NT® は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
- Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
- Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
- Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

## 5-1 IP パケットフィルタリング

IP パケットフィルタリングとは、TCP や UDP のサービス（WWW ブラウジングなど）を決定するポート番号とパソコンやサーバにより割り振られた IP アドレスを組み合わせ、IP パケットの通過を許可する / 拒否するための機能です。この機能によって、不必要な IP パケットの送受信を制限することができます。設定方法は添付 CD-ROM に収録されている「詳細ガイド」（HTML ファイル）の「クイック設定 Web」内の「パケットフィルタ設定」をご覧ください。

## IP マスカレード (アドバンスド NAT) とは

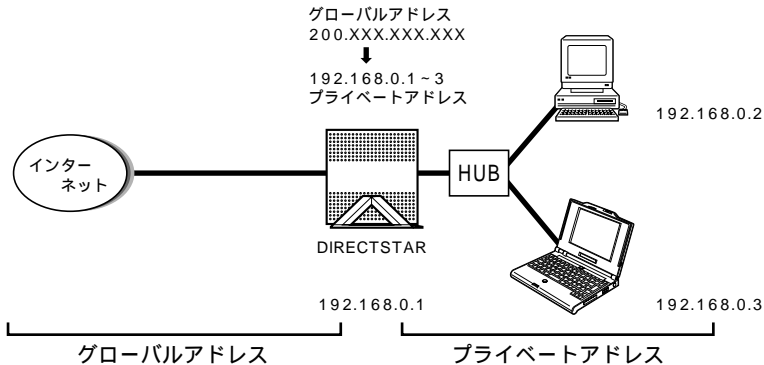
NAT (Network Address Translator) とは、インターネット上で使われるグローバルアドレス (インターネット上で 1 つしかない IP アドレス) をプライベートアドレス (LAN で任意に設定できる IP アドレス) に変換する機能です。IP マスカレードは、1 つのグローバルアドレスを複数のプライベートアドレスに変換することができます。このアドバンスド NAT 機能により、外部からは、各パソコンの IP アドレスは見え、LAN 側のパソコンへの不正な直接アクセスを防ぐ効果があります。

また、ポートマッピング機能の設定で、接続先ごとに細かいアクセス制御をすることで、ネットワークゲームに対応することも可能です。(5-10 ページ)

WAN 側にプライベート IP アドレスを割り振るブロードバンド接続事業者の場合、ネットワークゲームがご利用になれない場合があります。接続事業者にご確認ください。

## IP アドレス

IP (Internet Protocol) アドレスとは、ネットワーク上でパソコンを識別する番号です。「192.168.0.1」のようにピリオドをはさんだ 4 つの数字で表します。



UPnP 機能を使用すると、Windows messenger や MSN Messenger を複数台のパソコンでご利用になれます。

UPnP 機能は本商品とパソコン側の設定が必要です。

本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますのでそのままご使用できます。パソコン側の設定は、添付 CD-ROM に収録されている「詳細ガイド」(HTML ファイル)の「機能一覧」内の「UPnP 機能」をご覧ください。

**【ご注意】** UPnP 機能は、UPnP 機能対応のパソコンでのみご利用になれます。

OS ごとの詳細設定は、添付 CD-ROM に収録されている「詳細ガイド」(HTML ファイル)の「機能一覧」内の「UPnP 機能」をご覧ください。

#### 【ご利用になれる OS】

- ・ Windows® XP
- ・ Windows® Me

Windows® 98/2000/NT 4.0 で MSN Messenger4.6 をご使用の場合、「電話をかける」、「インスタントメッセージ」はご利用頂けます。

また、フレッツ・ADSL などの PPPoE が使用できる環境では、PPPoE ブリッジを使用することで、1 台の PC のみで利用ができます。

「電話をかける」サービスは、別途 ADSL 接続事業者とのご契約が必要です。

# ファイルとプリンタの共有 (Windows<sup>®</sup>)

本商品に HUB で接続されたパソコンどうしで、ファイルのやりとりをしたり、他のパソコンに接続されているプリンタを利用することができます。

ここでは、設定の一例をご参考に説明を行います。

## お願い

Windows<sup>®</sup> の共有機能を利用して、ファイルやプリンタを共有できるようにします（本商品の機能ではありません）。設定に関するお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。

ファイル共有には様々な方法があります。ここでは、その一例として、ワークグループを使ったファイル共有をご紹介します。

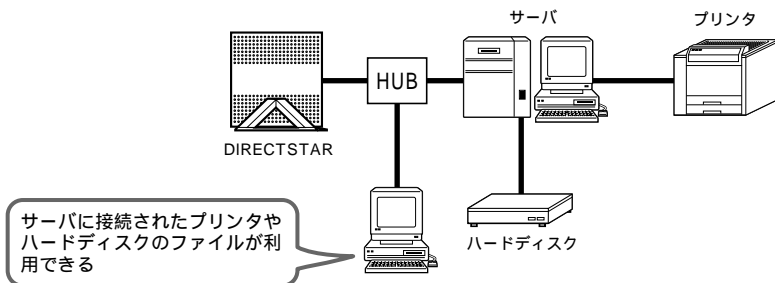
ドメインを使用した共有をご使用の場合は、システム管理者にご相談ください。

## ファイルとプリンタ共有の利用例（サーバとクライアント）

ファイルやプリンタを提供する側のパソコンをサーバ、提供されたファイルやプリンタを利用する側のパソコンをクライアントと呼びます。本商品に HUB で接続されたすべてのパソコンを、サーバとしてもクライアントとしても利用することができます。

クライアントからサーバに対して、次のような利用ができます。

- ・クライアントからサーバのファイルを開く
- ・クライアントが、サーバのファイルを自分のハードディスクにコピーする
- ・クライアントからサーバに接続されているプリンタで印刷する



プリントサーバを使用する場合は、上記の図と接続や設定の方法が異なることが考えられます。プリントサーバのサポート窓口にご相談ください。

## LAN に接続するための準備

LAN に接続する前に、それぞれのパソコンで以下の ~ の準備を行ってください。

### ネットワークコンポーネントの確認

Windows® のネットワークコンポーネントとして、以下のものがインストールされているか確認します。

- ・ Microsoft ネットワーククライアント (Windows® XP/2000 は「Microsoft ネットワーク用クライアント」)
- ・ TCP/IP (Windows® XP/2000 は「インターネットプロトコル (TCP/IP)」)
- ・ Microsoft ネットワーク共有サービス (Windows® XP/2000 は「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」)

画面は Windows® Me の例です



ネットワークコンポーネントが1つでも不足している場合は、添付のCD-ROM に収録されている「詳細ガイド」3章 ファイルとプリンタの共有」を参照して追加してください。

### Windows® Me/98 の場合の確認操作

[ スタート ] [ 設定 ] [ コントロールパネル ] をクリック

[ ネットワーク ] アイコンをダブルクリック

「優先的にログオンするネットワーク」は、「Microsoft ネットワーククライアント」にしてください。

### Windows® 2000 の場合の確認操作

[ スタート ] [ 設定 ] [ ネットワークとダイヤルアップ接続 ] をクリック

[ ローカルエリア接続 ] アイコンをダブルクリック

[ プロパティ ] をクリック

### Windows® XP の場合の確認操作

パソコンを本商品と接続してから、次の手順で行ってください。

[ スタート ] ボタン [ コントロールパネル ] をクリック

[ ネットワーク接続 ] をダブルクリック

[ ローカルエリア接続 ] を右クリック

[ プロパティ ] をクリック



## お願い

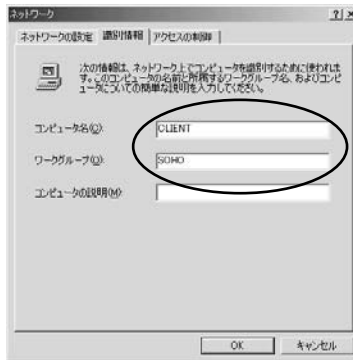
Windows® Me の場合は、ホームネットワークウィザードは使わないでください。インターネット接続できなくなります。

Windows® XP の場合は、添付の CD-ROM に収録されている「詳細ガイド」に従ってください。

## コンピュータ名 / ワークグループ名の設定

コンピュータ名は、ネットワーク上でパソコンを識別するための名前です。半角英数字を使い、各パソコンで別々の名前をつけます。また、ファイルやプリンタを共有しあうパソコンは、ネットワーク内のワークグループ名を同じにする必要があります。

[ 識別情報 ] タブで設定します。



## お知らせ

「ネットワークコンポーネントの確認」と「コンピュータ名 / ワークグループ名の確認」の具体的な操作については、添付 CD-ROM に収録されている「詳細ガイド」(HTML ファイル)「3 章 ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

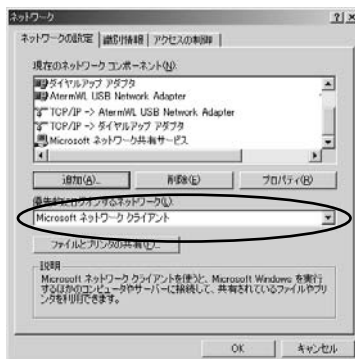
ドメインを使用したネットワークを構築する場合は、ドメインを管理するシステム管理者へご相談ください。

## ファイルとプリンタを共有する

### フォルダやプリンタに共有を設定する（サーバ）

ファイルやプリンタを共有するには、サーバのパソコンで以下の操作を行ってください。

「Microsoft ネットワーク共有サービス」  
Windows® XP/2000 の場合は「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」  
サーバとするパソコンには、「Microsoft ネットワーク共有サービス」というネットワークコンポーネントをインストールします。  
「優先的にログオンするネットワーク」は、「Microsoft ネットワーククライアント」にします。



「フォルダの共有設定」または「プリンタの共有設定」

共有させたいファイルが保存されているフォルダに対して共有を設定します。また、プリンタに対して共有を設定すると、クライアントから利用できるようになります。

画面はフォルダの共有設定の例です。共有したいフォルダのアイコンを右クリックして [共有] を選択すると表示されます。



### お知らせ

の具体的な操作については、添付 CD-ROM に収録されている「詳細ガイド」(HTML ファイル)「3 章 ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

## 共有フォルダや共有プリンタを利用する (クライアント)

サーバでフォルダやプリンタに共有が設定されていると、クライアント側からは、以下の手順でサーバの共有フォルダや共有プリンタに接続できます。

- 1 デスクトップの [マイネットワーク] アイコンをダブルクリックする  
LAN に接続されているパソコンのアイコンが表示されます。
- 2 利用したいパソコンのアイコンをダブルクリックする  
共有が設定されているフォルダやプリンタのアイコンが表示されます。



### お知らせ

具体的な操作については、添付 CD-ROM に収録されている「詳細ガイド」(HTML ファイル)「3章 ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

# ネットワーク対応アプリケーション (ネットワークゲームなど)を利用する

ネットワーク対応アプリケーション(ネットワークゲームなど)を利用するには次の3つの方法があります。

## 複数固定IP サービス対応(複数アドレス拡張)

プロバイダから割り当てられた複数のグローバル固定IPアドレスを本商品および本商品に接続されたパソコンにそれぞれ設定して、グローバルIPアドレスによるサブネットワークを構築します。複数のグローバルIPアドレスを付与するサービスを利用して、複数のインターネットサーバ公開などが可能になります。

固定IPアドレス対応(複数アドレス拡張)をご利用になるには次の設定が必要です。

### (1) 本商品の設定を行う

- ・ 固定IPアドレス対応(複数アドレス拡張)を利用する設定をする。
- ・ DHCPサーバ機能を無効にして、プロバイダからルータに割り当てられたグローバルIPアドレス、サブネットマスク、プライマリ、セカンダリを設定する。

### (2) パソコンの設定を行う

- ・ それぞれのパソコンにプロバイダから割り当てられたグローバルIPアドレスとネットマスクを設定します。
- ・ ゲートウェイアドレス、DNSサーバのアドレスには、本商品に設定したグローバルIPアドレスを設定します。

## DMZ ホスティング機能

DMZホスティング機能を使用することによって、HUBで接続されたローカルネットワーク内に、仮装DMZ領域を作ることができます。この仮装DMZ領域内のパソコンは、外部(インターネット)からのアクセスが可能となります。また、この仮装DMZ領域内のパソコンは、仮装DMZ領域外のパソコンにアクセスすることはできず、本商品への設定もすることができません。

DMZ機能を使用することにより、外部からアクセスされるDNSサーバ、Mailサーバ、Webサーバなどを設置するときに既存のローカルネットワークに対して高度なセキュリティを確保することが可能です。

設定のしかたは添付CD-ROMに収録されている「詳細ガイド」(HTMLファイル)「機能一覧」を参照してください。

## ポートマッピング機能

本機能は、IPマスカレード機能を使用時にローカルネットワーク内のサーバを公開する場合や、ゲームアプリケーションなどを動作させる場合に生じる問題について対応することを目的とした機能です。あらかじめ登録した設定テーブルに従ってIPアドレスのみを固定的に変換することにより、IPマスカレードによるポート番号変換を実施せずにローカルとグローバルのネットワークをつなぐ機能です。設定方法は添付CD-ROMに収録されている「詳細ガイド」(HTMLファイル)の「クイック設定Web」内の「ポートマッピング設定」をご覧ください。

## クイック設定 Web でポートマッピングの設定をする

クイック設定 Web でポートマッピングを設定し、ゲームなどで使用するポートの設定を行います。

- 1 パソコンを起動する
- 2 ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く  
本商品の IP アドレスを入力しても開きます。  
(工場出荷時は 192.168.0.1 です。)
- 3 ユーザー名に [ admin ] と入力し、パスワードを入力し、[ OK ] をクリックする  
クイック設定 Web が起動します。  
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
- 4 [ 詳細設定 ] の ▼ をクリックし、[ ポートマッピング設定 ] をクリックする
- 5 [ 編集する接続先 ] の ▼ をクリックし、編集する接続先を選択する。



- 6 [ NAT エントリ編集 ] 欄で設定する



- エントリ番号：  
空いているエントリを指定します。  
最大 50 個設定できます。
- 変換対象ポート：  
対象となるポート番号を指定します。
- 変換対象プロトコル：  
対象となるプロトコル種別を TCP、UDP から選択します。
- 宛先アドレス：  
上で設定したポートに対して固定的に割りあてるクライアントパソコンの IP アドレスを入力します。

- 7 [ 編集 ] をクリックする
- 8 [ 最新状態に更新 ] をクリックする
- 9 [ NAT エントリ ] 欄で設定したエントリ番号を  にする
- 10 [ NAT エントリ ] 欄で [ 適用 ] をクリックする

## 5-6 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

### 設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面の POWER ランプは点灯していますか？	NG (a 参照)
OK	
本商品前面の LINE ランプは点灯していますか？	NG (b 参照)
OK	
本商品前面の LAN ランプは点灯していますか？	NG (c 参照)
OK	
パソコンに IP アドレスが設定されていますか？ (IP アドレスの確認方法は、3-8 ページを参照してください)	NG (d 参照)
OK	
Web ブラウザにて設定画面が表示されますか？	NG (e 参照)
OK	
設定後、本商品前面の PPP ランプが点灯していますか？	NG (f 参照)
OK	
インターネットに接続できましたか？	NG (g 参照)

本症状の確認は、ルータモードでご使用の場合です。  
ブリッジモードでご使用の場合は、本商品の PPP ランプは点灯しません。

#### a. 本商品の POWER ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない	AC アダプタ (電源プラグ) が壁のコンセントから外れていないか確認してください。 電源スイッチが入っていることを確認してください。 AC アダプタ (電源プラグ) がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。(パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。) 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、添付のお問い合わせ先シートをご覧ください。

## b.本商品前面のLINEランプが点灯しない


症 状	原因と対策
LINEランプが遅い点滅のまま変化しない	<p>ADSL回線の開通工事が完了していないことが考えられます。ADSL接続業者に開通工事が完了しているか確認してください。接続しているポート（本商品のADSL回線ポート）は正しいかを確認してください。</p> <p>付属の電話機コードをしっかりと接続してください。本商品、スプリッタおよび回線用モジュージャックに正しく差し込まれているかを確認してください。</p> <p>その後2分たってもLINEランプが点灯しない場合は、下記にて切り分けを行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;電話を使用しない場合（スプリッタ無しタイプ）&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスを受けられない状態か、またはADSL回線の設定に問題があることが考えられます。プロバイダにADSL回線工事が完了しているか確認してください。</li> </ul> </li> <li>&lt;電話を使用する場合（スプリッタ有りタイプ）&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>スプリッタを外して、本商品とADSL回線のモジュージャックとを直接接続してみます。（『2-3 電話機をつなぎ、ADSL回線に接続する』2-4ページ）</li> <li>- LINEランプが点灯した場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>スプリッタ接続に問題があることが考えられます。再度スプリッタを使用して接続してみて改善されない場合は、スプリッタおよび電話機に問題があることが考えられます。</li> </ul> </li> <li>- LINEランプが点灯しない場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスを受けられない状態か、またはADSL回線の設定に問題があることが考えられます。プロバイダに回線工事が完了しているか確認してください。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
LINEランプが早点滅後、点灯せずに遅点滅に戻ってしまう	<p>ウォールジャック（モジュージャック）からスプリッタ間でブランチ（分岐）させていないか確認してください。</p> <p>モジュージャックが複数ある場合、電話機を繋げる際には、スプリッタの増設が必要になる場合があります。また、スプリッタを増設してもうまくいかない場合は、宅内工事が必要になる場合があります。</p> <p>電話機が複数台接続されているときは、1台にしてください。</p> <p>セキュリティアダプタやガス検知器などが接続されている場合は、ADSL回線と併用できない場合があります。詳しくは、管理会社、住宅管理会社にお問い合わせください。</p> <p>お客様の設置場所がNTT局舎から離れている場合は、お使いになれないことがあります。</p> <p>ADSLはノイズにより左右されますので、下記にて確認してみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ACアダプタ（電源プラグ）を延長ケーブルではなく、壁のコンセントに接続して確認してください。（ACアダプタのケーブルは出荷時の折れ曲がりに従ってACアダプタ側に短く束ねてください。）</li> <li>・ADSL回線ケーブルから本商品までの距離をなるべく短くなるように設置して確認してください。（ADSL回線ケーブルは出荷時の折れ曲がりに従って短く束ねてください。）</li> <li>・電源ケーブルとADSL回線ケーブルが平行しないように設置して確認してください。</li> <li>・ウォールジャック（モジュージャック）からスプリッタ間でブランチ（分岐）させていないか確認してください。</li> <li>・モジュージャックが複数ある場合、電話機を繋げる際には、スプリッタの増設が必要になる場合があります。また、スプリッタを増設してもうまくいかない場合は、宅内工事が必要になる場合があります。</li> </ul>



ご契約のプロバイダへお問い合わせください。


c.本商品前面のLANランプが点灯しない

症状	原因と対策
LANランプが点灯しない	<p>本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。</p> <p>LANボードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。</p> <p>Ethernetケーブルが本商品のEthernetポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。</p> <p>本商品に添付されているEthernetケーブル以外のケーブルをご使用の場合は、添付のEthernetケーブルをお使いください。</p> <p>LANランプが点灯していることを確認してください。LANランプが点灯していない場合は、再度本書の『3-5 パソコンの接続と確認』(3-7ページ)を参照して配線の確認をしてください。また、パソコンがLANカード/ボードを認識しているかを確認してください。</p>

 各パソコンメーカーもしくは販売店へお問い合わせください。

d.パソコンのIPアドレスが設定されていない


症状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.0.x」に設定されていない	<p>パソコンの設定が「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。</p> <p>パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。 起動後、3-8ページ以降を参照して再度パソコンのIPアドレスを確認する。</p> <p>b.次の手順でIPアドレスを取り直してください。</p> <p>Windows® Me/98の場合 [スタート]-[ファイル名を指定して実行]をクリックします。 「winipcfg」と入力して[OK]をクリックします。 Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているEthernetアダプタ名を選択します。 「解放」をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは[OK]をクリックして、へ進んでください。 「書き換え」をクリックして、IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>Windows® 2000の場合 [スタート] [プログラム] [コマンドプロンプト]をクリックします。 「ipconfig/renew」と入力して、[Enter]を押します。 IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>Windows® XPの場合 [スタート] [すべてのプログラム] [アクセサリ] [コマンドプロンプト]をクリックします。 「ipconfig/renew」と入力して、[Enter]を押します。 IPアドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p>

 各パソコンメーカーへお問い合わせください。




## e. Web ブラウザで設定画面が表示されない

症 状	原因と対策
パソコンから本商品に接続できない	パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、『3 パソコンのネットワークを設定する』(3-1 ページ)を参照して確認してください。
Web ブラウザで設定画面が表示されない	お使いの Web ブラウザの設定が「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の Web 画面が表示されないことがあります。

 各パソコンメーカーへお問い合わせください。

## f. 本商品前面の PPP ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
PPP ランプが点灯しない	プロバイダから送られている ID もしくはパスワードがあっていることを確認してください。 ユーザー名とパスワードが間違っている ADSL インターネット接続のユーザー名は、「*****@biglobe.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザー名とパスワードを再確認して正しく設定してください。 選択された接続リストにユーザー名とパスワードが入っていることを確認してください。
PPP ランプが遅い点滅をしている	ユーザー名とパスワードを再度確認してください。 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 ユーザー名：半角、全角 パスワード：半角、全角、大文字、小文字 を合わせてください。
PPP ランプが速い点滅をしている	接続事業者の設定を再度確認してください。「クイック設定 Web」の「WAN 側自動接続設定 (ADSL)」にて確認できます。

 ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

## g. インターネットに接続できない


症 状	原因と対策
接続に失敗する	<p>ユーザー名とパスワードが間違っている ADSL インターネット接続のユーザー名は、「*****@biglobe.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザー名とパスワードを再確認して正しく設定してください。</p> <p>パソコンやADSL回線と正しく接続されているか確認してください。</p> <p>お客様の設置場所がNTT局舎から離れている場合は、お使いになれないことがあります。</p> <p>セキュリティアダプタやガス検針器などが接続されている場合は、ADSLと併用できないことがあります。詳しくは、回線接続事業者、管理会社、住宅管理会社などへお問い合わせください。本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れしないでください。5秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。</p>
接続が成功してもホームページが開けない	<p>ネームサーバ(DNSサーバ)アドレスが間違っている 自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ(DNSサーバ)アドレスをプロバイダからの情報に従って「クイック設定Web」画面のネームサーバ(DNSサーバ)アドレスの欄に入力してください。</p>



ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

## ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
ADSL 接続が時々切れてしまう	<p>設置場所が NTT 局舎から離れていたり、幹線道路や鉄道のそばだと、通信が切断される場合があります。</p> <p>冷蔵庫・TV・電子レンジなど、ノイズを発生させる要因がある機器の上や横に置かれている場合は、その機器から離してください。</p> <p>セキュリティ装置が設置されていませんか？</p> <p>宅内にセキュリティ装置が設置されている場合は別途配線工事が必要になる場合があります。特に集合住宅の場合は、管理会社、管理組合にお問い合わせください。(セコム・火災報知器・ガス検知器など)( 1 )</p> <p>保安器の問題の可能性があります。</p> <p>保安器の一部(6PTという種類)では、電話着信時に ADSL 回線が切断もしくは著しく速度低下することが確認されています。</p> <p>NTT の 113 番に電話をして保安器の種類を確認してください。</p> <p>また、6PT 保安器の場合は、ADSL 不適合のため、保安器の交換が必要になる場合があります。詳しくは NTT の 113 番にお問い合わせください。( 1 )</p>
通信速度が遅い	<p>次のような場合には、十分な速度が出ないことがあります。NTT に回線の収容替えを要求すると通信速度が速くなる場合があります。(有料)( 1 )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の設置場所が NTT 局舎から離れている</li> <li>・お客様の設置場所が幹線道路や鉄道のそばである</li> </ul>
途中から通信速度が遅くなった	<p>ADSL 回線にアマチュア無線、CB 無線、放送、電車、電力線などのノイズが入った場合、通信速度が遅くなる場合があります。( 1 )</p> <p>ADSL と ISDN を併用する場合、回線の問題があり、速度が遅くなったり、つながらなくなる場合があります。( 1 )</p>
通信が切断されることがある	<p>次のような場合には、切断されることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の設置場所が幹線道路や鉄道のそばである</li> <li>・電話回線に着信があった場合</li> </ul>

( 1 )  ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

症 状	原因と対策
<p>使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された</p>	<p>[OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。</p> <p>Windows® Me/98 の場合  [スタート] - [ファイル名を指定して実行(R)] をクリックします。  「winipcfg」を入力して [OK] をクリックします。  Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用している Ethernet アダプタ名を選択します。  [解放(S)] をクリックして、IP アドレスが 0.0.0.0 になることを確認します。「IP アドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、[OK] をクリックして へ進んでください。  [書き換え(N)] をクリックして、IP アドレスが [192.168.0.xxx] になることを確認します。</p> <p>Windows® 2000 Professional の場合  [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。  「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。  IP アドレスが [192.168.0.xxx] になることを確認します。</p> <p>Windows® XP の場合  [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。  「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押します。  IP アドレスが [192.168.0.xxx] になることを確認します。</p>
<p>前回はできたのにインターネット接続ができない</p>	<p>本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れしないでください。5 秒以上の間隔をあけてから電源をいれてください。パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。</p> <p>下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。  起動後、3-8 ページ以降を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認する。</p> <p>b. 次の手順で IP アドレスを取り直してください。</p> <p>Windows® Me/98 の場合  [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックします。  「winipcfg」と入力して [OK] をクリックします。  Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用している Ethernet アダプタ名を選択します。  「解放」をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは [OK] をクリックして、へ進んでください。  「書き換え」をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>Windows® 2000 の場合  [スタート] [プログラム] [コマンドプロンプト] をクリックします。  「ipconfig/renew」と入力して、[Enter] を押します。  IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p> <p>Windows® XP の場合  [スタート] [すべてのプログラム] [アクセサリ] [コマンドプロンプト] をクリックします。  「ipconfig/renew」と入力して、[Enter] を押します。  IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認します。</p>



各パソコンメーカーへお問い合わせください。

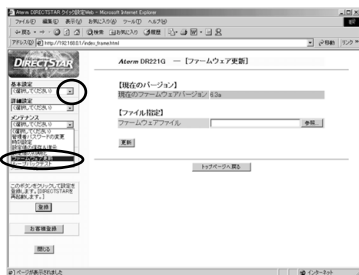
## 5-7 本商品のバージョンアップ

最新版のファームウェアをダウンロードし、本商品をバージョンアップします。

1 最新のファームウェアをダウンロードする

<http://121ware.com/aterm/>

2 [メンテナンス]の▼をクリックし、[ファームウェア更新]をクリックする



3 [参照]をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する



【現在のバージョン】には、現在のファームウェアのバージョンが表示されています。

4 [更新]をクリックし、[OK]をクリックする



画面は、Windows®でInternet Explorerの場合の例です。

しばらくすると、クイック設定Web画面に「ファームウェア更新中のため絶対に電源をOFFにしないでください」と表示されます。

5 [OK]をクリックする

POWERランプが緑色に点灯していることを確認してください。



画面は、Windows®でInternet Explorerの場合の例です。

**?** こんなときには

バージョンアップが終了しても、POWERランプが緑色に点灯しない

バージョンアップの途中で本商品の電源を切るなどの原因で、バージョンアップに失敗しています。もう1度やり直してください。

---

## お願い

ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

バージョンアップを行う前に、すべての通信を終了させてください。

バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。

お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。

このバージョンアップは、当社が独自に提供するサービスのことであり、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。

バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。

バージョンアップ用のソフトウェア入手の際の通信費は、お客さまのご負担となります。

本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書の記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書もバージョンアップされ、pdf ファイル形式で、当社のホームページに公開されます。最新の取扱説明書が必要なときは、こちらも合わせてダウンロードしてください。

## 5-8 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。本商品がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。

### 設定初期化について

本商品の設定初期化は、下記の手順で行います。

- 1 いったん本商品の電源を切る
- 2 イニシャルスイッチを押しながら電源を入れる（電源 ON 後、POWERランプが緑点灯し続けるまで押し続ける）  
イニシャルスイッチは先の尖ったつまよう枝などで押ししてください。  
これで初期化は完了です。

## 仕様一覧

項目		DR221G	備考
回線 インタ フェース	物理インタ フェース	ADSL用(RJ-11) × 1ポート	
	データ転送速度	ADSL: ADSLモデム仕様参照 100BASE-TX/10BASE-T: 100Mbps/ 10Mbps	
	ルーティング プロトコル	IP	
ADSL モデム 仕様	伝送方式	ITU-T G.992.1 (G.dmt/lite マルチ) Annex C	
	通信速度	下り: 最高8Mbps/1.5Mbps 上り: 最高1Mbps/512kbps	
	プロトコル	RFC2364 (IP over PPP over ATM) RFC1483 (IP over ATM)	
LAN インタ フェース	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T × 1ポート	
	データ転送速度 1	100BASE-TX/10BASE-T: 100Mbps/ 10Mbps	
	ルーティング プロトコル	IP	
利用可能端末		PC98-NX、PC-AT 互換機、Macintosh	
利用可能OS		Windows <sup>®</sup> 、Macintosh、Linux など TCP/IP に対応した OS (WWW ブラウザ による設定は、Internet Explorer の場合、 Windows <sup>®</sup> は 5.5 以上、Mac OS は 5.0 以上、Netscape Communicator の場合、 Windows <sup>®</sup> は 6.1 以上、Mac OS は 6.0 以上、Net Front for (デルタ) が対応 する機器で可能) ただし、ブラウザによる差分およびバージョ ンによっては、表示等に制限がある場合が あります。	
電源		AC100V ± 10% 50 / 60Hz	
停電モード		-	
消費電力		約 14W (最大)	
外形寸法		約(W)31 × (H)172 × (D)172	突起部を除く
質量		約 0.9kg	オプションを除く
動作環境		温度 0 ~ 40 湿度 10 ~ 90%	結露しないこと

1 規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。



## 5-10 お問い合わせ

添付の「お問い合わせ先シート」をご覧ください。

## 5-11 用語解説

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、添付のCD-ROMに収録されている「用語解説」を参照してください。

### 【アルファベット順】

ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話線を使ってインターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する。
AtermStation (エータームステーション)	Aterm 関連の情報を提供する NEC のホームページ。 URL は <a href="http://121ware.com/aterm/">http://121ware.com/aterm/</a> (平成 14 年 4 月現在)。
bps	bit per second の略。通信速度の基本単位。秒あたりに伝送されるビット数。
DNS(Domain Name System)	IP アドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能です。
IP アドレス	インターネット接続などの TCP/IP を使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bit の値をもち、8bit ずつ 10 進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する (例: 192.168.0.10)。
LAN	Local Area Network の略。1 つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
PPP	Point to Point Protocol の略。遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoA	PPP over ATM の略。高速交換システムで使用される ATM (Asynchronous Transmission Mode) の上で PPP 通信を行うための接続方式です。ATM 上でダイヤルアップ接続 (PPP 接続) と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行います。
PPPoE	PPP over ETHERNET の略。ADSL などの常時接続型サービスで 사용되는ユーザ認証技術です。ETHERNET 上でダイヤルアップ接続 (PPP 接続) と同じように利用者のユーザー名やパスワードのチェックを行います。

**【あいうえお順】****【か行】**

クライアント

LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル/データベース/メール/プリンタなど）を受けるコンピュータ。

**【さ行】**

サーバ

LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル/データベース/メール/プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。

**【は行】**

プロトコル

通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束事。

**【ら行】**

ルータ

複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

## [ A ~ Z ]

ADSL 回線コネクタ	1-5
ADSL 回線に接続する	2-4、2-6
ADSL モデム	1-2
CD-ROM	6
DATA ランプ	1-4
Ethernet ケーブル	1-3、3-7
Ethernet ポート	1-5、3-7
パソコンの Ethernet ポート	1-6
FG 端子	1-5、2-4、2-6
HUB	1-2、3-7、5-5
IP アドレス	4-2、5-2、5-3
IP アドレスの確認	
Windows® Me/98 の場合	3-8
Windows® 2000 の場合	3-9
Windows® XP の場合	3-9
Mac OS の場合	3-10
IP パケットフィルタリング	5-2
IP マスカレード機能	5-3
LAN ランプ	1-4
LINE ランプ	1-4
Microsoft ネットワーク	5-6
POWER ランプ	1-4
PPP ランプ	1-4
UPnP 機能	5-4
Web ブラウザ	1-6

## [ ア行 ]

アドバンスド NAT	5-3
イニシャルスイッチ	1-5
クイック設定 Web	1-2、4-2
インタフェース	5-22
お問い合わせ	5-23

## [ カ行 ]

管理者用パスワード	4-2、4-3
共有する	
ファイルとプリンタを～	5-8
クライアント	5-9
固定 IP アドレス	5-10
コンピュータ名/ワークグループ名	5-7

## [ サ行 ]

サーバ	5-8
詳細ガイド	5
初期化	5-21
スタンド	1-3、2-3
スプリッタ	1-3、2-4
製品仕様	5-22
接続	
ADSL 回線に～する	2-4、2-6
インターネットに～する	4-4
本商品とパソコンを～する	3-7
本商品とパソコンの～を確認する	3-8
LAN に～するための準備	5-6
設置する	2-3
設定する	
パソコンのネットワークを～	3-1
Windows® Me/98	3-2
Windows® 2000	3-4
Windows® XP	3-5
Mac OS	3-6

## [ タ行 ]

電源スイッチ	1-5
トラブルシューティング	5-12

## [ ナ行 ]

ネットワークコンポーネント	5-6
ネットワーク対応アプリケーション	5-10

## [ ハ行 ]

パスワード	4-2、5-11
ポートマッピング機能	5-10

## [ ヤ行 ]

ユーザー名	4-2、5-11
用語解説	5-24

# 5-13 確認シート

インフォメーションセンターにお問い合わせの際には、あらかじめ以下の確認シートにご記入のうえ、お問い合わせください。

## ADSL サービス お客様宅内環境確認シート

お客様情報	
お客様氏名	ADSL 認証 ID  @
ADSL 受付番号 (わかる方はご記入ください)	
ご契約プロバイダ名	回線種別  タイプ 1 ・ タイプ 2
他 ADSL 接続事業者への契約状況 (以前に申し込みをされた場合も含めてご記入ください)	
1. なし    2. あり (ADSL 事業者名: _____ 契約時期:    年    月 頃)	
パソコン環境	
コンピュータ環境 1. メーカー製    メーカー名 ( _____ ) 型番 ( _____ )    2. 自作機	
ご利用 OS 1. Windows® XP    2. Windows® 2000    3. Windows® ME 4. Windows® 98SE ( Second Edition )    5. Windows® 98 6. Windows® 95    7. MacOS ( Ver. _____ )    8. その他	
インターネット関連ソフトウェア (利用しているものに をつけてください) a. ウィルスバスター 2001 b. その他のウィルス対策・ファイヤーウォールソフト (製品名: _____ ) c. インターネット表示高速化ソフト (製品名: _____ )	
周辺機器の有無 1. なし    2. あり (機器名等: _____ )	
LAN 環境	
ご利用の LAN アダプタ - 名	ハブを利用して複数台の PC を接続していますか? 1. 1 台のみ    2. 複数台を接続 ( _____ ) 台
ハブ、ブロードバンド (BR)、無線 LAN の使用 1. なし    2. あり    種類: (ハブ・BR・無線 LAN)    製品名 ( _____ )	

ご自宅・周辺環境		
住居形態 1.一軒家 ( ) 階建    2.集合住宅(アパート・マンション・公団住宅)( ) 階		
周辺環境(ご自宅のお近くにある該当するものすべてに をつけてください) 1.鉄道                      2.高速・高架道路                      3.大きな河川・湖                      4.高圧送電線 5.電波塔・アンテナ    6.放送局                      7.工場                      8.空港 9.自衛隊・米軍基地    10.その他 ( )		
宅内環境(本商品設置周辺の電源を利用している状況を確認してください)		
a.モデムの1m以内にノイズ源がある(冷蔵庫、電子レンジ、TV、ステレオなど)	はい・いいえ	
b.モデムをPCの上に載せている	はい・いいえ	
c.モデムの電源をタコ足配線をとっている	はい・いいえ	
d.モデムの周囲に電源タップがある	はい・いいえ	
e.その他		
電話回線状況		
モジュラージャック個数(電話機のさしこみ口) ( ) 個 複数ある場合、すべてのモジュラージャックで 接続確認してください。他のモジュラージャック に通信機器等は接続しないでください。	PBX 交換器 (ホームテレフォン、 ビジネスフォン等)  なし・あり	FAX 専用機  なし・あり
電話回線を併用するサービスの有無(以下の中で、現在宅内にあるものすべてに をお つけください) 1.テレフォンアダプタ(KDDI、日本テレコムなど) 2.ドアホン(インターフォンと電話機が電話回線を共有) 3.ホームセキュリティ(セコム、SOKなど)    4.ガス警報機・検針器 5.火災報知器    6.CATV、CS放送(SkyPerfect TVなど) 7.その他 ( )		
宅内配線図		
ご自宅内の配線の長さをご記入ください。(単位:メートル) タイプ2をご利用のお客様は、㊸の欄にモジュラージャックからADSLモデムまでの 距離をご記載ください。㊹㊺の欄は未記入で結構です。		
<p>モジュラー ジャック</p> <p>タイプ2の場合はADSL モデムまでの距離。</p> <p>スプリッター</p> <p>タイプ1のみ</p> <p>ADSLモデム</p> <p>パソコン</p> <p>電話機 / ファクス</p> <p>a ( )m</p> <p>b ( )m</p> <p>c ( )m</p> <p>d ( )m</p> <p>実際にお送りする スプリッターとは形状 が異なる場合が あります。</p>		

ADSL 接続サービス状況確認シートにもご記入をお願いいたします。

### ADSL 接続サービス状況確認シート

ご契約先プロバイダ様へお問い合わせいただく前に、ご記入ください。

本商品のランプの点灯 / 点滅状況		
LINE	点灯・遅い点滅・速い点滅	
PPP	点灯・遅い点滅・速い点滅・消灯	
LAN	点灯・消灯	
DATA	点灯・消灯	
POWER	点灯・消灯	
ランプの機能説明	本商品のランプ機能の詳細については、1-4 ページを参照してください。	
	LINE ( 緑 )	点灯：ADSL 回線のリンクが確立しています。 遅い点滅：ADSL 回線の信号検出待ちです ( 0.4 秒間隔 )。 速い点滅：ADSL 回線がトレーニング中です ( 0.2 秒間隔 )。
	PPP ( 緑 )	点灯：PPP リンクが確立しています。 遅い点滅：PPP の認証が失敗しました ( 1 秒間隔 )。 速い点滅：相手先から応答がありません。 消灯：PPP のリンクが確立していません。
	LAN ( 緑 )	点灯：Ethernet ポートのリンクが確立しています。 消灯：Ethernet ポートのリンクが確立していません。
	DATA ( 緑 )	点滅：Ethernet ポートでデータの送受信をしています。 消灯：Ethernet ポートでデータの送受信していません。
	POWER ( 緑 )	点灯：電源が投入されています。 消灯：電源が切れています。
その他 ( ハブ、無線 LAN 等で複数台の PC を接続している方のみお答えください )		
ハブなどを取り除き、1 台のみで接続して状況は改善しましたか？	はい・いいえ・行っていない └── LAN 側複数台接続はサポート外になります。	
その他、ご質問等ございましたらご記入ください ( お困りになっていること等 )。		
ADSL サービスはベストフォート型 ( 通信品質が保証できない ) のサービスです。さまざまな要因で十分な速度をご提供できないこともございます。あらかじめ、ご了承ください。		

## 電波障害自主規制について

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 輸出する際の注意事項

本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本商品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本商品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) Atermは、災害時においてライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せつかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。



## お願い

- ・パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ・ADSLなど回線接続の条件などについてのお問い合わせは、各通信事業者またはプロバイダへお願いいたします。